

# ◆第2回秋吉台音楽コンクール審査結果◆

昨年の第1回に続き、今年も秋吉台音楽コンクールが開催されました。  
今年はチェロ部門とホルン部門の開催で全国から応募がありました。結果は以下のとおりです。

第1位

やまざわ  
山澤

チエロ部門

けい  
慧

第2位

おくだ  
奥田  
なな子

第2位

ねもと  
根本

めぐみ

第5位

やぎ  
八木  
たけふみ  
健史

第3位

やまだ  
山田

けいすけ  
圭祐

第6位

えむら  
江村  
たかひろ  
考広

第4位

ふなはし  
舟橋

ちなみ  
知奈美

第6位

うじいえ  
氏家  
あきら  
亮

## 応募・出場者数

### チエロ部門

応募受付期間 2012年9月1日

～2013年2月28日

第1次予選 2013年3月初旬

応募総数 10名

第2次予選 2013年4月28日

出場者 10名

第3次予選 2013年4月29日

出場者 6名

本選 2013年4月30日

出場者 2名

### ホルン部門

応募受付期間 2012年9月1日

～2013年2月28日

第1次予選 2013年3月初旬

応募総数 43名

第2次予選 2013年5月4日

出場者 37名

第3次予選 2013年5月5日

出場者 16名

本選 2013年5月6日

出場者 7名

秋吉台音楽コンクール

各部門の表彰式では、審査員の先生を代表して2名の先生により講評をいただきました。

### チェロ部門 藤原真理先生（チェリスト）



今日はおめでとうございました。コンクールというと、「1位をとりたい」「優勝したい」という思いは誰しも持つのが当然で、負けた方もくやしいと思っていらっしゃるかもしれません。けれど、先は本当に長いので、毎年毎年心機一転という気持ちで、自分の五感から頭をよりよく使って判断して一つ一つチャレンジしていくいただきたいと思います。

ある作品を演奏して作品がどういう風に作られているか、それに対してどういう共感を自分

が覚えるか、それを客席で聞いてくださっている人に、より正確によりそのまま伝えられるか。自分の演奏、出してる音、そして演奏しに行つた場所、一つ一つがまるっきり違いますから、自分の音を客席にいる人達にいかに伝えるかということを忘れないでください。音楽は単に楽器を上手に弾ければそれでいい、という問題ではないので、その点を忘れないでこれから先の長い時間を有意義に使っていただけたらと思います。

### ホルン部門 水野信行先生（東京音楽大学教授）

みなさんおめでとうございます。それから、今回参加してくださった皆さん、遠い所だったとは思いますが、よろこんで参加してくださいました。この秋吉台は日本から離れた雰囲気というのを僕はすごく感じていました。こんなに自然に包まれたこんな良い環境で音楽ができるという機会を与えてくださいって本当にありがとうございました。

それから、日本だけじゃなくて国際的にもすぐに友達になれるっていうのがホルン吹きの性格だと思います。ホルンというのはオーケストラの中でもまとまつていかないと、オーケストラの仕事にならない楽器だと思います。これからも皆さん一人ずつ頑張って、そして仲良く、またこういう機会があれば皆さんのが来ていただけることを願っています。



審査員代表  
金木博幸先生



山口県知事賞  
ホルン部門第1位  
所村映李さん



ホルン部門受賞者と審査員の先生方



チェロ部門第1位  
山澤慧さん



チェロ部門第2位  
奥田なな子さん

4月より前佐川信夫村長に代わり、八木資義新村長が着任しました。



八木資義村長

会員の皆様、初めまして。このたび秋吉台国際芸術村の村長に就任いたしました八木資義（やぎやすよし）と申します。着任して3ヶ月が経過しましたが、周囲の緑と小鳥のさえずり（蛇もいますが）など、豊かな自然の中で業務にあたれることに大きな喜びを感じております。

さて、秋吉台国際芸術村はご承知のように平成10年8月にオープンし、今年15周年を迎えます。この間、幅広い芸術分野における創作活動の支援や人材育成に携わってきました。また、地域における文化活動の拠点、あるいは交流の場として多くの皆様に利用していただいています。この恵まれた自然環境の中で、心おきなく芸術文化活動に打ち込める事、また、さまざまなアートや芸術に触れる事ができるのがこの芸術村の良さであると思います。これからもこの良さを生かしながら、「親しみやすく、楽しめる芸術村づくり」に努めたいと思いますので、皆様方のご支援とご協力をよろしくお願ひします。

第3回秋吉台音楽コンクールは来年また新たな部門で開催予定です。  
日本を代表するコンクールとなるようスタッフ一同努力してまいります。